

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-525839(P2005-525839A)

【公表日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-034

【出願番号】特願 2003-536556(P2003-536556)

【国際特許分類】

A 4 5 C 13/24 (2006.01)

G 0 8 B 13/02 (2006.01)

G 0 8 B 13/14 (2006.01)

G 0 8 B 25/10 (2006.01)

【F I】

A 4 5 C 13/24

G 0 8 B 13/02 A

G 0 8 B 13/14

G 0 8 B 25/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

番されていないときに価値有る物品を安全、及び / 又は、危険のない状態で保管するための可搬、又は、搬送可能な安全装置であって、

価値有る物品が配置される入れ物部と、

前記装置の移動を検知可能なセンサと、

前記装置を稼働状態、又は、解除状態とする稼働システムと、

アラームと、

遠隔制御アクチベーターとを備え、

前記稼働システムにより前記装置が稼働状態とされたときに、前記安全装置の許可されない使用、及び / 又は、移動を検知する前記センサに応答して、前記アラームが作動して許可されない使用の警告を提供し、前記遠隔制御アクチベーターは、前記稼働システムが解除状態であるときに、前記アラームを作動させるように操作可能であることを特徴とする安全装置。

【請求項 2】

前記入れ物部が前記安全装置が取り付けられ、又は、搭載され、或いは、前記入れ物部と一体化される分離された入れ物を有することを特徴とする請求項 1 に記載の安全装置。

【請求項 3】

前記センサが、移動検知器であることを特徴とする請求項 1 に記載の安全装置。

【請求項 4】

前記移動検知器が、水銀スイッチを備えることを特徴とする請求項 3 に記載の安全装置

。

【請求項 5】

前記稼働システムがプログラム可能なシステムを含むことを特徴とする請求項 1 に記載

の安全装置。

【請求項 6】

前記稼働システムがキーパッドを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の安全装置。

【請求項 7】

前記安全装置が、前記キーパッドから予め定められたコードを入力することにより稼働状態とされることを特徴とする請求項 6 に記載の安全装置。

【請求項 8】

前記キーパッドが前記装置を稼働状態とするためのコードを変更するためにプログラム可能であることを特徴とする請求項 7 に記載の安全装置。

【請求項 9】

前記キーパッドが、前記アラームの動作をキャンセルするためのキャンセルボタン、又は、スイッチを備えることを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の安全装置。

【請求項 10】

前記アラームが可聴のアラームであることを特徴とする請求項 1 に記載の安全装置。

【請求項 11】

前記稼働システムが、前記コードの入力から遅延した時間に稼働状態となることを特徴とする請求項 7 に記載の安全装置。

【請求項 12】

前記物入れ部がバッグであることを特徴とする請求項 1 に記載の安全装置。

【請求項 13】

前記バッグが、ジッパー付きの小物入れを含み、前記センサ、稼働システム、及び、アラームが前記小物入れに取り付けられた安全部品を形成し、前記安全部品は、前記ジッパー付き小物入れの前面側表面に取り付け板を有し、前記稼働システムは、前記取り付け板の前面に位置するキーパッドを有することを特徴とする請求項 12 に記載の安全装置。

【請求項 14】

前記振動センサが前記小物入れの内部の前記取り付け板の裏側に取り付けられていることを特徴とする請求項 13 に記載の安全部品。

【請求項 15】

前記アラームが、前記キーパッドに隣接して前記取り付け板に取り付けられたサイレンを有することを特徴とする請求項 13 又は 14 に記載の安全装置。

【請求項 16】

部屋への許可されない侵入に対して当該部屋にいる人の注意を喚起する方法であって、前記部屋のドアのドアハンドルから請求項 1 に記載の安全装置が吊り下げられて、前記安全装置が稼働状態のときに、前記ドアの任意の許可されない移動が検知されて、前記アラームが作動することを特徴とする方法。

【請求項 17】

価値有る物品を、番されずに放置されたときに安全、及び / 又は、危険のない状態に保管、及び / 又は、維持する方法であって、

前記価値有る物品を安全装置の入れ物部、又は、安全装置を有する入れ物部に配置するステップと、

前記入れ物部を閉じるステップと、

振動センサを稼働状態にするための稼働システムを稼働させるステップとを有し、

前記振動センサは、遠隔制御アクチベーターを含むアラームシステムに接続されており、これにより、前記稼働手段の操作により前記センサが稼働状態とされたときに、前記振動センサによる前記入れ物部、及び / 又は、装置の許可されない移動、又は、使用の検知に応答して前記アラームが作動して前記装置、及び / 又は、入れ物部の許可されない使用、又は、移動を警告し、前記稼働手段が稼働状態でないときには、前記アラームが前記遠隔制御アクチベーターにより作動され得ることを特徴とする方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明の一態様によれば、番されていないときに価値有る物品を安全、及び／又は、危険のない状態で保管するための可搬、又は、搬送可能な安全装置であって、価値有る物品が配置される入れ物部と、前記装置の移動を検知可能なセンサと、前記装置を稼働状態、又は、解除状態とする稼働システムと、アラームと、遠隔制御アクチベーターとを備え、前記稼働システムにより前記装置が稼働状態とされたときに、前記安全装置の許可されない使用、及び／又は、移動を検知する前記センサに応答して、前記アラームが作動して許可されない使用の警告を提供し、前記遠隔制御アクチベーターは、前記稼働システムが解除状態であるときに、前記アラームを作動させるように操作可能であることを特徴とする安全装置が提供される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明の他の態様によれば、価値有る物品を、番されずに放置されたときに安全、及び／又は、危険のない状態に保管、及び／又は、維持する方法であって、前記価値有る物品を安全装置の入れ物部、又は、安全装置を有する入れ物部に配置するステップと、前記入れ物部を閉じるステップと、振動センサを稼働状態にするための稼働システムを稼働させるステップとを有し、前記振動センサは、遠隔制御アクチベーターを含むアラームシステムに接続されており、これにより、前記稼働手段の操作により前記センサが稼働状態とされたときに、前記振動センサによる前記入れ物部、及び／又は、装置の許可されない移動、又は、使用の検知に応答して前記アラームが作動して前記装置、及び／又は、入れ物部の許可されない使用、又は、移動を警告し、前記稼働手段が稼働状態でないときには、前記アラームが前記遠隔制御アクチベーターにより作動され得ることを特徴とする方法が提供される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

典型的には、振動センサは、典型的には稼働状態にされたバッグの移動など、振動、或いは、移動を検知する装置である。典型的には、振動センサは、検知器を作動、又は、動作させるに必要な移動量を選択、又は、変更するために調整可能となっている。更に典型的には、振動センサは、例えば、水銀スイッチなどの、通常型の振動センサである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

図 1 A は、装置が解除状態のとき、又は、稼働状態にないときに、アラームを作動させるための自己充足的な無線式の遠隔制御アクチベーターである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 8 】

ここで図 2 を参照すると、類似の安全装置が、典型的には、バッグの開口部の近くである、バッグの一つの端部に結合された安全部品を有する手提げ鞆 3 0 の形態で図示されている。図 2 の安全装置は、図 1 の安全装置と全く同じ態様で動作し、安全装置は、番されずに放置されたときに、任意の許可されない手提げ鞆の移動を振動センサにより検知し、そして、手提げ鞆を盗む試みがあったことの可聴の警報を提供するようにアラームを動作させるように、振動センサを稼働状態にさせる予め選択されたコードをキーパッド 2 2 に入力することにより稼働状態にすることができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 9 】

図 2 A は、装置が解除モードのときに装置のサイレン（アラーム）を離れた場所から作動させることを可能にする自己充足的な無線式遠隔制御用アクチベーターを含む、ユニットが強制的に、又は、詐欺的に持ち去られた場合に位置の特定を容易にし、窃盗を思いとどまらせる、アラームのための遠隔制御アクチベーターの一実施例である。遠隔制御アクチベーターは、典型的には、窃盗から手提げ鞆 3 0 を守ることを希望する人により、分離して持ち運ばれる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 1 】

安全装置、或いは、安全装置を有する適切な物入れを、保護を提供するために恒久的に物入れに取り付けることができる。

更に、安全装置は、所有者がユニットに数値的に連続的な安全番号を入力して、振動感知トリガー、及び、警戒サイレンの双方を稼働状態、解除状態にすることを可能にし、ユニットが番されずに放置されることを可能にし、静止位置から移動された場合に可聴信号を発する。